

★ オプション検査 料金表 ★

(税別)

検査項目メニュー		料金	
婦人科系検査	子宮頸がん検査	問診・診察・細胞診(スメア)	2,400
		問診・診察・細胞診(スメア)・コルポ診 * 膣拡大鏡を使い炎症や腫瘍がないかを調べます。	3,000
		HPV(ヒトパピローマウイルス)検査 * 発がん性HPV感染の有無を調べます。	3,600
	子宮卵巣検査	子宮(径膣)超音波検査 * 子宮や卵巣などの臓器の状態を調べます。	3,500
乳房検査	乳房超音波検査 * 乳腺や乳管の状態や小さな腫瘍の有無を調べます。乳がんの早期発見に役立ちます。	3,000	
血液検査	腫瘍マーカー	PSA(前立腺がん)	1,400
		CEA(大腸・胃・膵がん)	1,400
		CA19-9(膵・胆・胆管がん)	1,400
		CA125(卵巣がん)	1,400
		AFP(肝がん)	1,400
	腫瘍マーカー3項目セット	CEA・CA19-9・PSA(CA125)	4,000
	腫瘍マーカー4項目セット	CEA・CA19-9・AFP・PSA(CA125)	5,400
	アミノインデックス (血液中のアミノ酸濃度を測定し複数のがんを同時に検査)	男性AICS5種(胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん)	24,000
		女性AICS6種(胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、★子宮がん、卵巣がん)	24,000
	ロックスインデックス	脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査	16,500
	甲状腺機能検査	ホルモン(FT3・FT4・TSH) * 甲状腺ホルモンの異常がないか調べます。	4,400
	貧血検査	Hb・Ht・WBC・RBC・PLT・Fe・TIBC・網状赤血球	1,800
	糖尿病検査	尿検査(糖)・HbA1c・FBS	2,000
	高脂血症検査	尿検査(蛋白・潜血)・T-cho・TG・HDL-ch・LDL-ch	1,350
	肝・膵機能検査	GOT・GPT・r-GPT・ALP・Che・AMY・T-Bill	2,000
	痛風・腎機能検査	BUN・CRE・UA・尿検査(蛋白・潜血)	1,500
	消化器系検査	HBs抗原(B型肝炎ウイルス検査) * 現在のB型肝炎ウイルス感染の有無を調べます。	880
HBs抗体(B型肝炎ウイルス検査) * 過去のB型肝炎ウイルスの有無を調べます。		880	
HCV抗体(C型肝炎ウイルス検査) * C型肝炎ウイルス感染の有無を調べます。		1,200	
ペプシノゲン * 胃粘膜と胃酸分泌の状態を胃液をチェックします。		2,600	
抗ヘリコバクターピロリIgG抗体 * 胃がピロリ菌に感染していないか調べます。		1,000	
胃がんリスクABC検診(ペプシノゲン + ヘリコバクターピロリ抗体)		3,300	
尿素呼吸試験法	消化器系検査 ヘリコバクターピロリ菌 * 事前連絡の上実施	5,200	
超音波検査	骨密度検査(骨粗しょう症検査) * 骨のカルシウム量を計り、骨の加齢により骨がもろくなり骨折しやすくなる骨粗しょう症を診断します。	800	
	頸動脈超音波検査 * プラーク(血管の壁につくられるこぶ)の有無、血管の走行異常や狭窄など動脈硬化の進み具合が判定できます。	3,000	
	腹部超音波検査 * 肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓の形や内部の状態を調べます。	5,300	
CT検査	肺がんCT検査 * レントゲンでは発見されにくい直径数ミリの病変を肺の断層画像を撮影します。	14,700	
	内臓脂肪検査 * 内臓脂肪と皮下脂肪を色分け表示します。	3,000	
呼吸器検査	肺機能検査(スパイログラフィー) * 肺の容積や空気を出し入れする換気機能のレベルを調べる検査です。	1,700	
	喀痰細胞診 * 事前連絡の上実施	600	
眼科検査	眼圧検査 * 視力低下の原因となる緑内障を診断します。	820	
	眼底検査(両眼) * 血管の動脈硬化状態がわかります。	1,120	
メンタルヘルス検査	メンタルヘルス調査票 * うつ病や気分障害の早期発見・早期治療のためのこころの健康度調査	500	
認知症検査	長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)	500	
動脈硬化検査	ABI検査 * 動脈硬化の程度を数値して表します。	1,300	
胃カメラ検査	胃透視検査に胃カメラ選択(経口・経鼻)を選択しプラス金額	3,000(税込)	
動脈硬化検査セット	ABI検査 + 頸動脈超音波検査	4,000	

アミノインデックス(AICS)

「血液検査で胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん・

乳がん・子宮がんまたは卵巣がんのリスクがわかる！」

新しいアプローチで、がんのリスクをチェックします！

●アミノインデックスがんリスクスクリーニング (AICS)とは？

血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、がんであるリスク(可能性)を評価する検査です。

●AICSの特徴

1回の採血で、複数のがんを同時に検査することができます。早期がんにも対応しています。

●AICSの対象者

検査項目名称	受診対象者年齢	評価対象がん
男性AICS (5種)	25歳～90歳	胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、膵臓がん
	40歳～90歳	前立腺がん
女性AICS (6種)	25歳～90歳	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん
	20歳～80歳	子宮がんまたは卵巣がん

●子宮がん・卵巣がんについて

子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象にしています。いずれかのがんであるリスクについて評価することができますが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません。

●がんであるリスクとは？

リスクとは、確率、可能性、危険性などと呼ばれているもので、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。

AICSは、それぞれのがんについて、がんである確率を0.0～10.0の数値(AICS値)で報告いたします。リスクの傾向は数値が高いほど、がんである確率が高くなります。

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0

●受診前の注意点

- ・検査のための採血は、食事後8時間以上あけ、午前中に採血してください。
- ・アミノ酸のサプリメント、アミノ酸含有スポーツ飲料、アミノ製剤、牛乳・ジュースなども食事同様に控えてください。
- ・妊娠されている場合、AICS値に影響がありますので検査は受けられません。

AICSについてのお問い合わせ

健診センター「アヴァンティ」 0598-29-1311